

令和7年度版

国有林のあらまし

青森森林管理署の概要



八甲田のブナ



国民の森林・国有林

東北森林管理局

青森森林管理署

林野庁

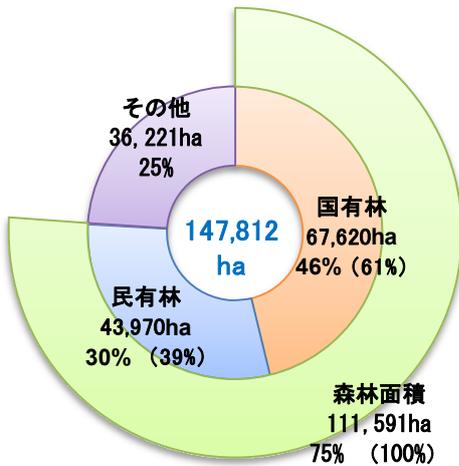
(1) 国有林野の現況

(管内の森林の概要)

青森森林管理署の管内の、土地面積に占める森林面積の割合は75%（全国平均66%、青森県平均65%）で、その内訳は国有林68千ha、民有林44千haです。

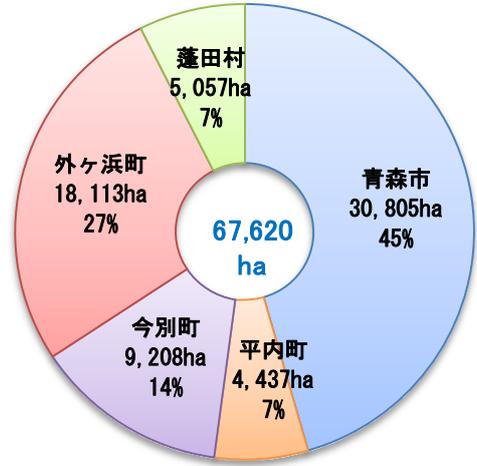
また、土地面積に占める国有林の割合は46%（全国平均20%、青森県平均40%）、森林面積に占める国有林の割合は61%（全国平均31%、青森県平均62%）で、いずれも全国平均を大きく上回っています。

管内の森林



出典：東青国有林の地域別の森林計画書（令和3年4月）

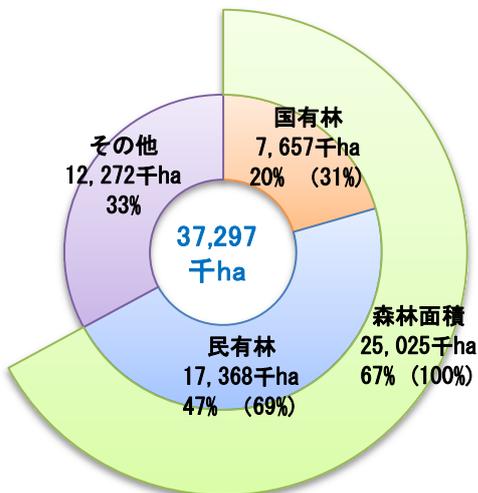
管内国有林の市町村別面積



出典：東青国有林の地域別の森林計画書（令和3年4月）
※端数処理で計が一致しない

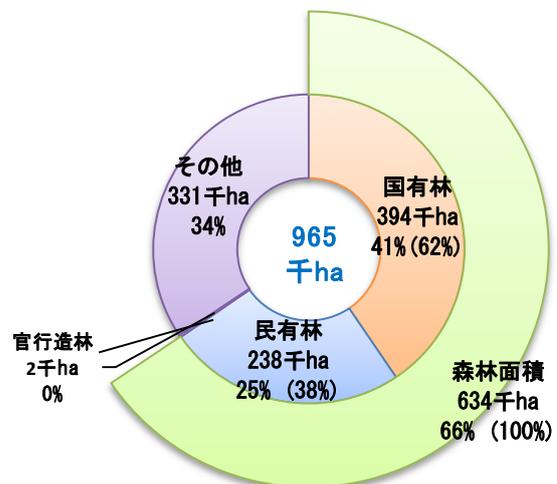
参 考

日本の森林



出典：林野庁業務資料（令和4年3月）

青森県の森林



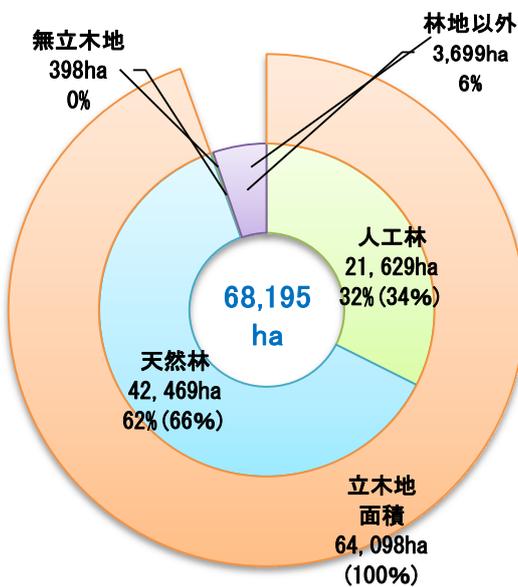
出典：青森県森林資源統計書（令和7年4月）

(管内の森林の状況)

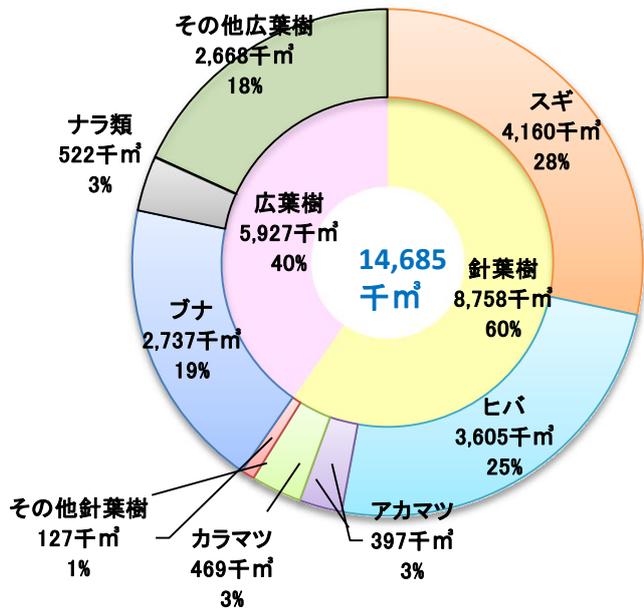
管内の国有林野面積68千haのうち人工林面積は22千haで、立木地面積64千haの34%で、樹種はスギがほとんどを占めています。また、天然林面積は42千haで、立木地面積の66%であり、ブナ、ヒバが主体となっています。

樹種別の蓄積はスギ28%、ヒバ25%、ブナ19%です。このうち、ヒバは津軽半島東部地域、ブナは八甲田山を中心とする地域に多く分布しています。八甲田山の高山地帯にはオオシラビソ（アオモリトドマツ）、夏泊半島にはアカマツも分布しています。

林種別の面積



樹種別の蓄積



出典:「第六次国有林野施業実施計画書」(令和3年4月)

※端数処理で計が一致しない



八甲田山のブナ林



増川ヒバ施業実験林

(2) 国有林野事業の取組状況

令和7年度の主な取組事項

病虫獣害対策の推進

令和6年に青森市、平内町、今別町、外ヶ浜町及び蓬田村の国有林でナラ枯れ被害が確認されたことから、速やかに防除対策に取り組みます。



再造林の推進

スギ花粉症対策として、「重点区域に準じた国有林」を中心に花粉の少ない苗木の植栽を実施します。また、下刈りの筋刈り等の再造林の低コスト化に向けた取組を推進します。



林業の担い手育成への協力

青い森林業アカデミー第5期生に対してフィールドの提供や講師派遣を通じて、林業技術者の育成支援に努めます。

【青い森林業アカデミー研修生の講義】



森林環境教育の推進

小中学校を対象に森林の役割等について理解を深めてもらうため、森林環境教育、林業体験活動等を実施します。



(3) 令和7年度の主要事業量

区分	細目	事業量(当初)	用語の説明
収穫量	主伐	128 千m ³	収穫量 : 収穫期を迎えた樹木の伐採(主伐)や、健全な樹木に育成するための間引き(間伐)を行う数量
	間伐	57 千m ³	
生産事業		48 千m ³	生産事業 : 伐採により発生する木材を有効に活用して丸太を生産する事業
販売事業		50 千m ³	販売事業 : 生産事業により発生した丸太を販売する事業
立木販売 (分収林・官行造林含む)	主伐	85 千m ³	立木販売 : 立木の状態で行う樹木の販売
造林事業	地拵	114 ha	造林事業 : 苗木を植え、育て、健全な森林をつくる事業
	植付	114 ha	
	下刈	230 ha	
林道事業	新設	1 km	林道事業 : 森林の整備に必要な林道の開設(新設)や補修・修繕(改良)を行う事業
	改良	1 箇所	
治山事業	溪間工	1.5 基	治山事業 : 土砂等の流出を防ぐ事業

※立木販売の事業量は官収分を記載



造林作業(植付)



入内川治山工事(青森市)

(4) 管内の自然の特色



八甲田(青森市)



高野崎(今別町)



夏泊半島(平内町)



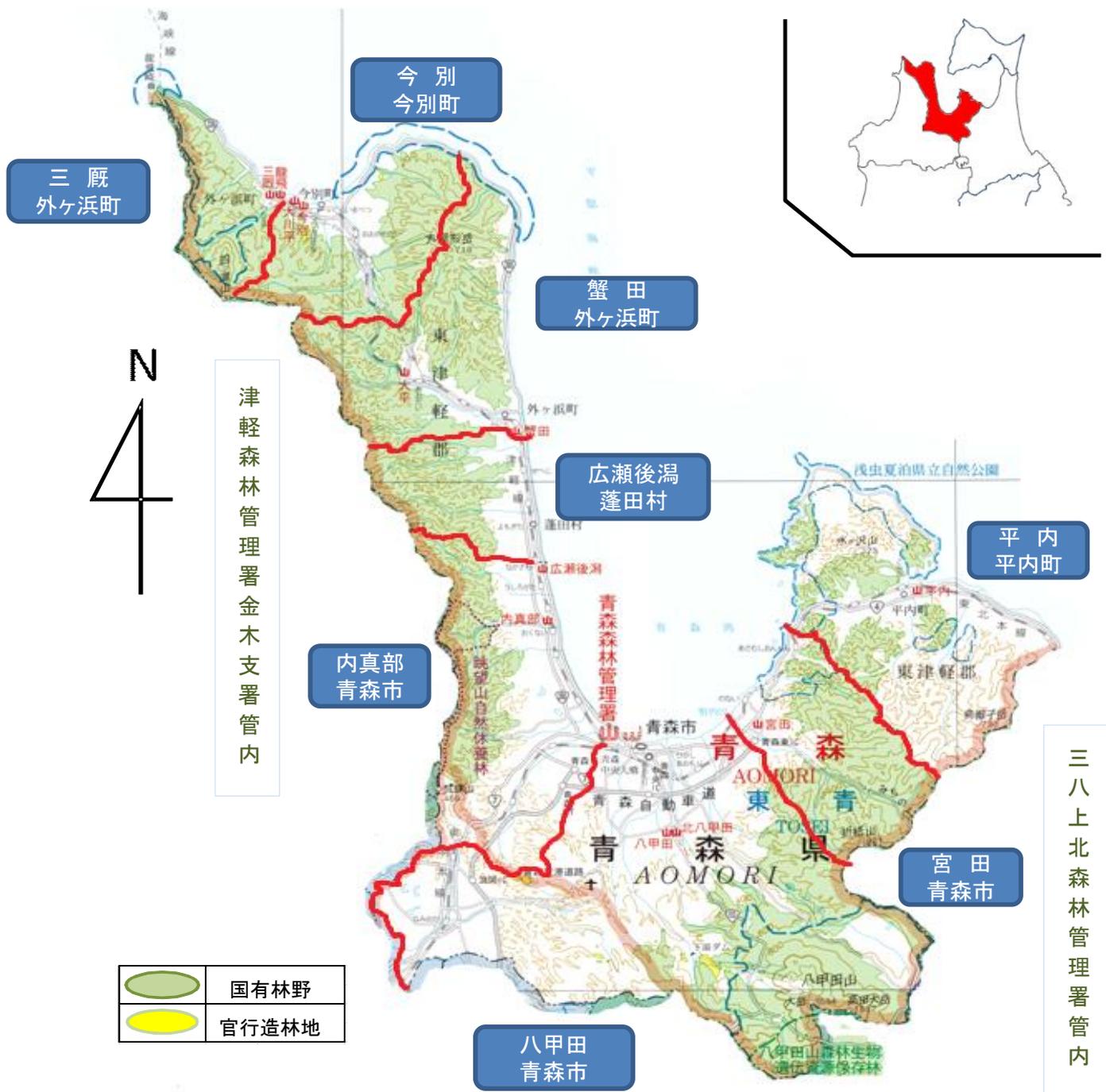
水田と津軽山地(外ヶ浜町、蓬田村)

青森森林管理署の管理区域(青森市・平内町・今別町・外ヶ浜町・蓬田村)は、青森県の北西部に位置し、奥羽山脈の北端部である、八甲田山を中心とする地域と津軽半島東部地域に大別されます。

八甲田山を中心とする地域は、八甲田大岳(標高1,585m)をはじめ高峰が連なる山岳地帯です。脊梁部は急峻ですが、下流に至るにつれて緩斜地形となっています。一方、津軽半島東部地域は、700m前後の山が連なる起伏の大きな地帯です。

管内の国有林は、市町村の水道用水や農業等産業用水の水源域が多く、水源かん養を目的とした保安林に指定されている箇所が多くなっています。また、ヒバ林やブナ等の広葉樹林の天然林が多くあり、ヒバ等の豊かな森林資源を利用した木材加工業が発達し、地域の重要な産業となっています。さらに、十和田・八幡平国立公園、津軽国定公園等優れた景勝地や自然環境を有する森林も有しています。

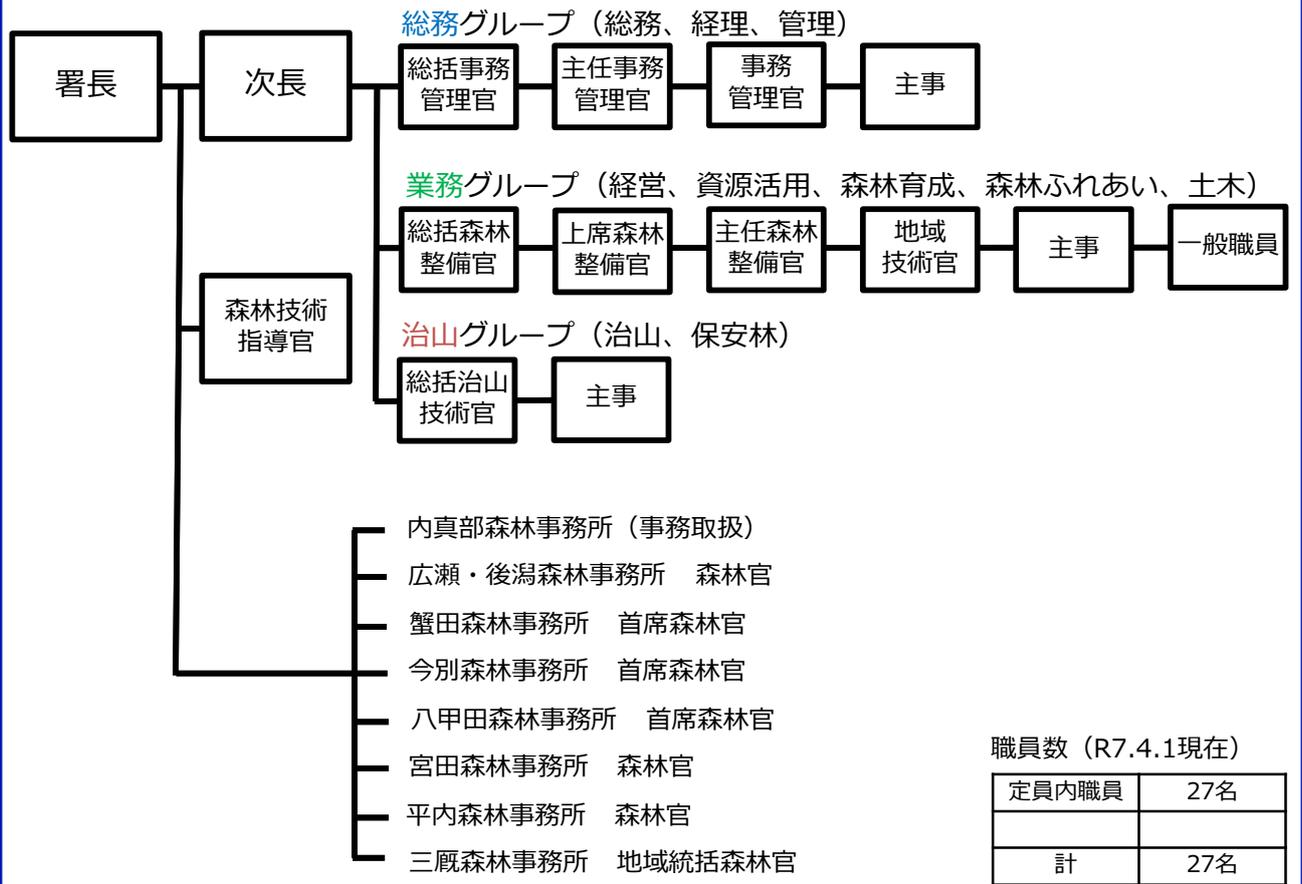
(5) 管内図



青森森林管理署は青森県東青地区の1市3町1村（青森市・平内町・今別町・外ヶ浜町・蓬田村）の国有林を管理しています。
管内の75%が森林で、そのうち61%が国有林です。

(6) 組織図

【現在の組織図】



【組織の変革】

- 明治 2年 版籍奉還に伴い津軽藩領を引き継ぐ
- 明治19年 大林区署制度の制定により、6小林区署、1派出所を設置
- 大正13年 営林局署官制公布により小林区の名称を青森、内真部、蟹田及び増川営林署に改称
- 昭和 4年 増川営林署を分割し今別営林署を新設
- 昭和29年 内真部営林署を廃止して同署の管轄区域を青森営林署及び蟹田営林署に分割
- 昭和63年 今別営林署を増川営林署に統合
- 平成11年 青森、蟹田及び増川営林署を「青森森林管理署」に再編
- 平成13年 蟹田、増川、今別の旧営林署を統合
- 平成26年 青森県における中心的な役割を担う代表森林管理署として指定
現在に至る

管内の国有林は、藩政時代は津軽藩の領有でしたが、明治維新の版籍奉還によって官林（民部省主管）となりました。その後、数次にわたる所管の変遷（民部省→大蔵省→内務省）を経て明治14年に農商務省へ移管され、大正13年に農林省所管（昭和53年に農林水産省に改称）となりました。

平成11年3月1日、国有林野事業の抜本的改革により、営林局を「森林管理局」に、営林署を「森林管理署」に組織再編されました。これにより、青森、秋田の両営林局が「東北森林管理局」に、東青森林計画区（東青流域）内の青森、蟹田及び増川の3営林署が現在の「青森森林管理署」に再編されました。

(7) 問い合わせ先

1 アクセス



2 連絡先

名称	郵便番号	所在地	電話番号
青森森林管理署	038-0011	青森県青森市篠田3-22-16	IP:050-3160-5880 Tel:017-781-0131
内真部森林事務所	038-0052	青森市清水字浜元149	Tel:017-754-2616
八甲田森林事務所	030-0135	青森市新町野字薄井55-5	Tel:017-738-2545
宮田森林事務所	030-0135	青森市新町野字薄井55-5	Tel:017-738-2545
平内森林事務所	039-3321	東津軽郡平内町小湊字前范36-4	Tel:017-755-3142
蟹田森林事務所	030-1303	東津軽郡外ヶ浜町蟹田田ノ沢11-6	Tel:0174-22-2164
広瀬後潟森林事務所	030-1262	青森市後潟字大原4-2	Tel:017-754-3519
三厩森林事務所	030-1734	東津軽郡外ヶ浜町三厩増川257	Tel:0174-37-2122
今別森林事務所	030-1502	東津軽郡今別町今別字西田258-613	Tel:0174-35-3591



～東北森林管理局では地球温暖化防止のため、再生可能な間伐材製品利用を推進しています～